

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書室広報室	No.	1
事業名	秘書事務事業		

■基礎情報

目的	町長及び副町長のスケジュール管理 町長交際費の適切な執行
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長・副町長の日程調整及び管理事務 ・ 交際費及び慶弔事務 ・ 町長公文書・資料管理及び情報収集 ・ 来客・来賓応接 ・ 挨拶・礼状等の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電報等、渉外事務 ・ 町長の資産公開事務 ・ 県郡町村会事務 ・ 後援名義使用許可申請に関する事務
現在における経過又は課題	<p>○ 町長が出席する各種会議・行事等について 内容の確認 及び、スケジュールの調整。</p> <p>・ 副町長が不在となっていることから、町長に過度な負担がかからないよう出張や会議等への出席依頼等については、関係部署の部課長に内容の確認・代理での出席等について相談し調整をすすめる。</p> <p>○ 町長交際費について、適正な執行に努める。</p> <p>・ 最近の弔慰関係については家族葬が多くなり、弔問や香典辞退など、これまでと対応が変わってきている。 相手の意向に十分配慮し、適切な対応に努める。</p> <p>・ 各種分野で活躍する児童・生徒を始め、本町にゆかりのある方々から表敬訪問を受けることが多くなった。 対象となる大会等について開催内容を確認するとともに、訪問を受けることとなった場合は、激励や お祝いなど、来庁者の年齢等に相当な対応をする。</p> <p>訪問いただいたあとも引き続き活躍を見守り、繋がりをもっていく</p> <p>○ 「大口町後援名義使用許可申請」について、多種多様な事業について申請が出されるようになった。 事業目的や対象者、事業効果など十分に内容を確認し、適切と判断したものについて許可するものとする。 また、事業実施後に提出を要する「実績報告書」の提出が遅れたり、未提出のところもあるため、随時、確認し、速やかな提出を求める。</p>

令和4年度の 目標又は 改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町長への出席等依頼については、これまでと同様に、町長の出席を要するもの、或いは、町長以外でお願いができるものを担当部局に聞き取り、適切な対応とスケジュール管理に努める。 出席される会議等については、開催内容や出席者の状況、開催に要する時間など詳細を事前に確認し町長に伝える。 ○ 交際費については、過大な対応とならないよう努める。 ○ 弔慰に関するものについては、ご遺族等の想いに沿った対応となるよう、細心の配慮に努める。
-----------------------	--

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果 指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」により、適切な支出に努める。 ・大口町後援名義使用許可申請については要綱にそって慎重に審査し、使用許可とした場合は、通知書を出す際、事業実施後に実績報告書を速やかに提出するよう文書を添えるなど、適正な運用に努める。 					
	項 目 (単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標
	町長交際費 (円)	742,321	1,116,990	1,227,672	/	
	大口町後援名義使用許可申請 (件数)	16	23	23		

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」により、適切な支出に務める。 ・ 大口町後援名義使用許可申請については要綱にそって慎重に審査し、使用許可とした場合は、通知書を出す際、事業実施後に実績報告書を速やかに提出するよう文書を添えるなど、適正な運用に努める。
R6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長交際費については、「大口町長交際費の支出基準及び公表に関する規定」により、適切な支出に務める。 ・ 大口町後援名義使用許可申請については要綱にそって慎重に審査し、使用許可とした場合は、通知書を出す際、事業実施後に実績報告書を速やかに提出するよう文書を添えるなど、適正な運用に努める。

■ 作業工程（当該年度）

月	作業内容
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各月 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月末 翌月の町長スケジュール確認、公用車の予約手配 ・ 15日前後 翌月の町長交際費の支出予定の確認及び伝票処理 ・ 月始め 前月の町長交際費の支出内容・支出額の確認及び伝票処理 ホームページ更新事務 ○ 4～5月 町長資産公開事務 ○ 随時 来客対応等、スケジュールの調整 交際費対応 後援名義許可申請 ・ 政策要望 ・ アンケート等 への対応 公職者名簿の管理 電報等、渉外事務 一部事務組合との関係事務 愛知県町村会及び、丹羽郡町村会関係 事務

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 町長への出席等依頼については、担当部局との連携を密にし、できるだけ時間帯がばらけることの無いようメリハリのあるスケジュール管理をした。
- 交際費の支出については、その目的を吟味し、適正な執行に努めた。
- 弔慰に関しては、昨今の事情を考慮し、ご遺族等の想いを汲む中で適正な執行に努めた。

■ 評価

町長の会議等への出席については、開催内容や出席者の状況等を担当部局に聞き取り、概ね適切な対応ができた。また、庁舎への来客についても同様に対応し、とりわけ、儀礼的なものについては差し控えていただくようにし、メリハリのあるスケジュール管理ができた。

交際費の支出については、それが社会通念上、過大な対応とならない範囲内にとどめることができた。

弔慰に関しては、基本的には交際費執行基準によるものの、昨今の事情を考慮し、ご遺族等の想いに沿う形でケースバイケースで対応ができた。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書広報室	No.	2
事業名	儀式・表彰事務事業		

■基礎情報

目的	大口町表彰条例に基づき表彰を行う。 国又は県の栄典及び、各種表彰の対象となる方を推薦する。	
事務内容	「大口町表彰式」開催 ・自治功労者表彰 ・一般表彰 ・褒賞 ・金婚表彰	・叙位叙勲内申及び、受賞関係事務 ・各種表彰の照会・回答
現在における経過又は課題	○ 「大口町表彰式」開催においては、毎年、7～8月に各課に対象となる方を推薦してもらい、表彰審査会・褒賞選考委員会等で協議したのち、被表彰者を決定。 推薦漏れがないか、確認が必要。 表彰式開催については、令和2年度より、新型コロナウイルス感染症発生により密集を避けるため、時間を分けての開催となった。 ○ 栄典等の対象者に係る履歴のデータ管理。	
令和4年度の目標又は改善策	○ 表彰対象となる方の推薦忘れがないよう、各課に周知する ○ 叙勲の潜在候補者について、議会等の関係機関から資料を収集し、データを作成・管理する。 対象者が多数であること、また、現役当時の情報が少ないため、早くから資料を収集し調書の作成に取り掛かるようにする。	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第2節	行財政経営				
成果指標	/						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値

■ 3年間の目標

目標	<p>「大口町表彰式」における被表彰者の推薦については、各課に関わられている方や団体について常に意識して頂き、申請漏れがないよう周知する。</p> <p>叙勲の潜在候補者の把握に努めるとともに、随時、調書作成を進める。</p>					
項目(単位)	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	
大口町表彰式 被表彰者数(人)	15	22	9			
〃 (団体)	25	55	5			
大口町表彰式 金婚表彰(組)	20	17	20			

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5年度	・新型コロナウイルス感染拡大が続くような状況となった場合、表彰式の開催場所、開催方法について、共催者である大口町社会福祉協議会と協議検討をする。
R6年度	・本町行政に貢献いただいた方・団体等について、心から感謝の意を表すとして、被表彰者の推薦については、漏れのないよう各課に依頼をし、開催方法については状況をみつつ最良の形で実施をする。

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 3	○ 潜在候補者の把握・調書作成 各関係機関から 資料を収集・整理
(通年)	○ 県からの 各種表彰潜在候補者 照会への回答
7 ～ 8	各課宛て、大口町表彰条例に基づく表彰候補者の照会
9	金婚表彰対象者を広報誌で募集
10	大口町表彰審査委員会 開催 大口町褒賞審査委員会 開催
11	『大口町表彰式』 大口町社会福祉協議会との共催により 開催

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・『大口町表彰式』での被表彰者の推薦については、推薦漏れがないよう、各課に重ねて依頼をした。
また、広報紙で紹介した方々や企業・団体等で、掲載内容より表彰対象になると思われる方などについて推薦調書が提出されていない場合は 所管課に問い合わせをするなどし、適切な対応に努めた。
- ・『叙勲』については、過去の議会だよりをはじめ、行政資料をもとに、調書の作成を進めた。

■評価

- ・『令和4年度 大口町表彰式』については、各課の協力により被表彰者を推薦いただき、滞りなく執り行うことができた。
- ・潜在候補者の方への聞き取りをはじめ、調書作成 参考資料を 随時、取り集めた。
候補者が大勢、おられる中、年齢の高い方から順に、調書の作成を進めた。

令和4年度 事業別行政経営計画書

所属名	総務部 秘書広報室	No.	3
事業名	広報・広聴事業		

■基礎情報

目的	町の行政施策や行事、行政サービスなどの情報を、分かりやすい内容で住民の方々に届けるとともに、「元気なまちおおぐち」を積極的に情報発信する。	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち編集及び発行 ・ まちのカレンダー編集及び発行 ・ 町ホームページ管理 ・ 広報無線配信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町公式SNS管理 (facebook, LINE, Twitter, YouTube) ・ 動画配信事業 ・ 地域懇談会の開催 ・ 町勢要覧の編集及び発行
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち 長く続いているコーナーも時代の変化とともに参加していただける町民の方や、読み手の考え方にも変化があり、一度見直しをする必要がある。 ・ 動画配信事業 昨年に引き続き「憩いの四季」との協働事業により動画、写真の配信を行った。「まちの話題」としてショートムービーをYouTubeへアップロードしているが再生回数が少ない。 	
令和4年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報おおぐち 記事の企画の見直しを実施し、町民の方により興味を持っていただける内容に広報編集委員、協働委託業者と協議し変更をかけていく。 ・ 動画配信事業 ツイッター等でも動画配信をお知らせし、より多くの方に観ていただけるように発信していく。 	

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

総合計画の 体系	基本目標	第6章	持続可能な地域経営				
	基本政策	第3節	情報発信・共有				
成果指標	町ホームページによる町の情報提供への満足度						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
62.2%	64.3%	64.3%	-	-	-	-	70%

成果指標	「広報おおぐち」を読んでいる人の割合						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
78.6%	88.9%	89.3%	-	-	-	-	90.0%

成果指標	地域懇談会参加者数（総数）						
H26 実績値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 目標値	R6 目標値	R7 目標値
136人	55人	-	-	22人	180人	190人	200人

■ 3年間の目標

目標						
	項目（単位）	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標

■ 2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
R5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用し、住民の知りたい情報をよりリアルタイムに提供できるようにする。 ・地域懇談会については、住民のニーズに沿ったテーマを取り上げ、より多くの方に参加いただけるよう周知を図る。
R6年度	同上

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4 ～ 3	<ul style="list-style-type: none">・広報おおぐち 毎月：編集、校正、多言語配信・広報編集委員、協働委託業者との打合せ：随時・町ホームページ管理運営：随時・動画配信：随時・町公式SNS管理：随時・広報無線：随時・動画配信に関する協働委託業者との打合せ：随時
4月	記録収集及び配信イベントを協働委託業者と計画
3月	次年度に向け各部局から情報収集
	<ul style="list-style-type: none">・地域懇談会開催（令和5年1月28日開催）

■目標又は改善策に対する取組内容

・広報おおぐち

企画の変更は行わなかったが、ふれあいまつりなどのイベント案内をページを外すことでチラシとしても活用できるよう構成を工夫した。

・動画配信事業

新規動画を掲載した際はツイッターでお知らせしPRを行った。また、ホームページのトップのまちな話のアイコンを目に留まりやすい場所へ移動した。

■評価

・広報おおぐち

町の情報誌として、より分かりやすく、見やすく、また町をより知っていただくため、レイアウトや特集の内容を協働委託業者と相談しながらより良いものを作成していきたい。

・ホームページ

各課に『よくある質問ページ』を作成した。ホームページ上で知りたいことがわかるように今後も随時質問項目を増やしていきたい。

・地域懇談会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は対象者を女性にし、人数に制限を設けて3年ぶりに開催した。女性目線での活発な意見交換ができた。次回も住民のニーズに沿ったテーマを取り上げ、有意義な意見交換会を実施したい。

・まちなカレンダー

冊子サイズを小さくした際に、文字が小さくなり見にくいとの声もあり、全体的に文字のポイントを大きくしたり、レイアウトを変更することでより見やすく、分かりやすいものにした。

・町制施行60周年記念誌

大口町登録NPO団体ZOOMと協働で構成、レイアウト等を考え記念誌の制作を行った。大口町の歩みや記念事業などを掲載し、数年後に見返した際にも60周年の年がどういう年であったかわかるものができた。